社会政策関連学会協議会シンポジウム

学術の役割を考える

―学問と社会の関係を問い直すための知恵―

学術会議会員任命拒否や国立大学法人法改正など、「学問の自由」が蔑ろにされる政策が進められています。研究者だけでなく市民にとって「学問の自由」が尊重されない社会は何をもたらすのでしょうか。学術と社会を発展させ、誰一人取り残さない社会づくりに資する社会政策とは、それらを担う若手研究者の育成について、今われわれが確認しておかないといけないことを一緒に気づき考えていきましょう。

日時

2024年 3 月 9 日(土)

開場 13:00 **13:30～16:30**

会場

東洋大学白山キャンパス
6号館3階6311教室

〒112-8606 東京都文京区白山 5-28-20

会場へは都営地下鉄三田線、東京メトロ南北線（上図参照）が便利です。東洋大学HPより

開催形式

ハイブリッド形式（対面・オンライン）

①対面は100名に達した段階で申し込みを終了します。
②オンライン参加は800名の受入が可能です。
③対面・オンラインとも右記の参加登録が必要です。登録者には開催1週間前に、会場へのアクセスとオンラインでの参加方法に関するURLをお送りします。

基調講演

学術が社会とともにあるための「学問の自由」
（光本滋：北海道大学）

報告

社会の存続に貢献する社会政策のために
（大沢真理：東京大学名誉教授）

若手研究者の育成と学術の課題
（岩永理恵：日本女子大学）

質疑応答・パネルディスカッション

司会・コーディネーター
石井まこと（社会政策関連学会協議会代表）

参加登録が必要です。

【参加登録締め切り】
2024年３月１日（金）までにお願いします。

【参加申込みフォーム】
https://forms.gle/818fPSQbjnnG99nU7

参加は無料で、どなたでも参加可能ですが、３月１日（金）までに、上記URLないしは右のQRコードから参加登録をお願いします。

主催／社会政策関連学会協議会　問い合わせ先：事務局　socialpolicycouncilmanager@gmail.com　http://casp-home.jp/